

钢管矢板

付属品

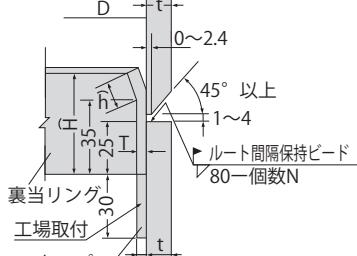
钢管矢板は、用途、施工方法などにより各種の附属品が必要となります。钢管杭・钢管矢板技術協会ではその附属品を標準化しています。钢管矢板の設計をすすめるに際しては、構造上支障のない限り、標準品をご使用ください。

JASPPジョイント附属金具

裏当リングの厚さ及び高さ

外径D (mm)	T (mm)	\hat{H} (mm)	\hat{h} (mm)
1,016以下	4.5	50	$\hat{H}=50$ の場合 15
1,016を超えるもの	6.0	70, 50*	$\hat{H}=70$ の場合 35

注* 中掘り工法適用の場合は50mmとする。



JASPPジョイントの形状

質量計算式

●裏当リング質量

$$(1) \varphi 1016\text{以下} W (\text{kg}) = 0.02466 \times 4.5(D - 2t - 4.5) \times 0.05$$

$$(2) \varphi 1016\text{超} W (\text{kg}) = 0.02466 \times 6(D - 2t - 6) \times 0.07$$

または $W (\text{kg}) = 0.02466 \times 6(D - 2t - 6) \times 0.05$ (中掘り工法の場合)

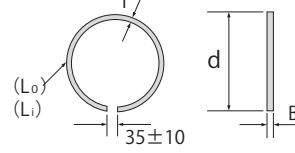
記号 D : 管径 (mm) t : 管厚 (mm)

ストッパーおよびルート間隔保持ビード個数

外径D (mm)	N (個数)
609.6 以下	4
609.6 超 1,016 以下	6
1,016 を超えるもの	8

ずれ止め

- (1) 厚さ (T) ずれ止めの標準寸法による
(2) 径 (d)



外表面取付け

- $d = D + 2T$

内面取付け

- $d = D - 2t$

D : 杭外径 (mm)
t : 杭管厚 (mm)
T : ずれ止め厚さ (mm)
d : ずれ止め外径 (mm)
B : ずれ止め幅 (mm)

ずれ止めの標準寸法

D 钢管本体径 (mm)	T ずれ止め厚さ (mm)	B ずれ止め幅 (mm)
800未満	9	25
800以上～1200未満	12	25
1200以上～1500未満	16	32

質量計算式

●外表面取付け

$$W (\text{kg}) = 0.02466 \times T (D+T) B \times 10^{-3}$$

●内面取付け

$$W (\text{kg}) = 0.02466 \times T (D-2t-T) B \times 10^{-3}$$

ストッパーの個数 : 3ヶ (内面) ストッパーの質量 : 88g/ヶ

補強バンド

●補強バンドの質量W

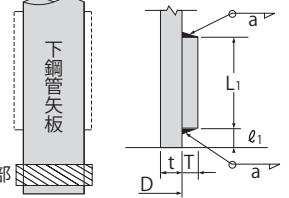
$$W = 0.02466 \times 10^{-3} \times$$

$$L_1 \cdot T \cdot (D + T) (\text{kg})$$

ここに D : 钢管外径 (mm)

T : 補強/バンド厚 (mm)

L₁ : 補強バンド幅 (mm)先端部



補強バンド質量表

(kg/個)

厚さ (mm)	9		12	
	外径 (mm)	幅 (mm)	200	300
500	22.6		33.9	30.3
600	27.0		40.5	36.2
700	31.5		47.2	42.1
800	35.9		53.9	48.1
900	40.3		60.5	54.0
1,000	44.8		67.2	59.9
1,100	49.2		73.8	65.8
1,200	53.7		80.5	71.7
1,300	58.1		87.2	77.6
1,400	62.5		93.8	83.6
1,500	67.0		100.5	89.5
1,600	71.4		107.1	95.4
1,700	75.9		113.8	101.3
1,800	80.3		120.4	107.2
1,900	84.7		127.1	113.2
2,000	89.2		133.8	119.1
2,100	93.6		140.4	125.0
2,200	98.1		147.1	130.9
2,300	102.5		153.7	136.8
2,400	106.9		160.4	142.8
2,500	111.4		167.1	148.7
2,600	115.8		173.7	154.6

注) 太字は標準品の寸法および質量を示します。